

対象年度		平成31年度		総合計画実施計画策定及び行政評価シート										
事務事業名		公園施設改修事業						予算事業名		公園整備事業費				
予 算 科 目		会計	01	款	項	目	事業	要求区分						
				08	03	05	2001	政策経費	根拠法令					
総合計画体系		2安全で住みやすさを実感できるまちづくり(都市・環境)						事業の区分		主要事業				
		2-1計画的で魅力あるまちづくり(都市計画)								重点事業				
		②公園・緑地の整備						担当課係等		都市計画課				
3公園・緑地の整備						公園緑花係								
事業期間		継続(平成28年度～平成32年度)												
【めざす姿(意図・どのような状態になるのか)】							【事業開始のきっかけや他市の状況など】							
公園施設の老朽化及び機能の低下した施設等を改善し、市民が公園を活用しやすくなる。また、市民が愛着と誇りを持って利用でき、安全で安心な憩いの場としての公園を提供する。							安全・安心ないこいの場としての公園を提供するため、施設の老朽化及び機能低下した危険な施設を改善する。							
【手段(事業内容・どのようなことを行うのか)】							【対象(だれに対して・何に対して行うのか)】							
都市計画課が管理する公園82箇所について ・実施設計委託に基づく改修工事 ・点検結果に基づき修理・撤去・改善等を行う H26城跡歴史公園法面改修工事設計委託 H26水辺公園施設改修工事(あずまや、ハッ橋、太鼓橋) H27大町児童公園測量設計業務委託 H27城跡歴史公園法面改修工事 H28大町児童公園改修工事 H31水辺公園護岸工事							老朽化により魅力の低くなった、また危険な公園施設							
							【事業をとりまく環境の変化】							
							国及び県からも「公園施設の安全強化について」の周知徹底通知がある。							
【平成31年度 事業内容】				【平成32年度 事業内容】				【平成33年度 事業内容】						
点検結果に基づき修理・撤去・改善等				点検結果に基づき修理・撤去・改善等				点検結果に基づき修理・撤去・改善等						
水辺公園護岸改修工事														
■事業費														
				H29年度		H30年度								
財 源 内 訳	国	庫	支	出	金	0	0							
	県		支	出	金	0	0							
	地		方		債	0	0							
	そ		の		他	0	0							
	一		般	財	源	0	0							
歳入計(千円)				0		0								
歳 出 内 訳	節(番号+名称)			金額(千円)		金額(千円)								
歳出計(千円)(A)				0		0								
伸び率(%)														
備 考	総合計画 72ページ 予算書 ページ													

平成29年度行政評価シート

■指標

種類	指 標 名	単 位		H29年度	H30年度	H31年度
活動 指標	公園施設改修工事	箇所	目標	83.00	83.00	83.00
			実績	0.00	0.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00
成果 指標	公園施設改修工事進捗率	%	目標	100.00	100.00	100.00
	単年度		実績	0.00	0.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00

■事業評価

必要性	事業の必要性	A 必要性は高い	市民の憩いの場として、安全に快適に公園を利用できるようにするため、市が施設を改修、改善する必要性は高い。
妥当性	実施主体の妥当性	A 妥当である	結城市が管理する公園であり妥当である。
	手段の妥当性	A 妥当である	実施設計書に基づく公園改修工事、及び点検委託の結果に基づく老朽化した施設を対象としているため妥当である。
効率性	コストの効率性・人員効率	A 改善の余地はない	簡単な補修については直営で行うなど管理方法を検討しており、また必要最低限な人員で管理を行っている。
公平性	受益者の偏り	A 偏りは見られない	誰もが利用する公園を対象としており公平性が保たれている。
有効性	成果向上の余地	A 上がっている	老朽化した公園施設を改修、撤去することにより安全性を高めることができる。
進捗度	事業の進捗	A 順調である	公園の安全・安心を目的としているため、事故等が起きないようにするのが目標であるため。
総合評価 上記評価を踏まえて事業全体について評価し、問題点・課題等を指摘してください			
公園施設の安全管理の強化は、年々厳しくなっており、安全・安心ないこいの公園を提供するため、施設点検により指摘された、老朽化、機能低下した施設については早急に対応を行っているが、予算が厳しい中での対応となっているのが現状である。撤去後に新しい施設を導入できないなど、市民のニーズに対応しきれていない。			
対応策提言等 この事業を今後どのように改善・改革をしていきますか			
点検調査結果をもとに、優先順位を決めて年度ごとに計画的に進めていく。老朽化した施設などについては、廃止・撤去を検討していく必要がある。			

■方向性

1 次評価（1 次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策）） ☐ 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） ☐ 改善改革しながら継続 ☒ 現状のまま継続（改善・改革なし） ☐ 統合・新規事業への展開 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止・終了 ☐ 予定どおりの要求 ☐ 一部改善の上要求 ☐ 今回は見送り ☐ その他の処置
改革・改善の具体的内容（改革案・実行計画） 公園施設を利用するうえで安全性の確保は重要なことであり、点検調査は不可欠であり今後も継続して実施する必要がある。また、調査結果をもとに修理撤去等の対応を迅速にし市民へ安全な施設を提供できるように努める。
2 次評価（2 次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策）） ☐ 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） ☐ 改善改革しながら継続 ☐ 現状のまま継続（改善・改革なし） ☐ 統合・新規事業への展開 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止・終了 ☐ 予定どおりの要求 ☐ 一部改善の上要求 ☐ 今回は見送り ☐ その他の処置
企画調整会議の意見・考え方（1 次評価者と同じ場合も記入） 上記評価のとおり。